

にいがた

ろうしきよう NEWS

新潟県老人福祉施設協議会広報誌

2017.3.15 NO.29

卷頭シリーズ・元気な笑顔が素敵！すまいる介護マン



1

入居者様やご家族、近隣の方々から様々な作品が寄贈され、館内に展示されている。



2



3階デイサービスフロアからの風景。夏は一面の田園。冬は一転して、雪原となる日もある。右下写真は、2階から見るビッグスワン。

猫、亀、金魚に
熱帯魚を飼っています。
三人の子供のパパ。

「尊い仕事」だからこそ、お一人に
かける時間だけでなく質を上げたい。

すまいるマン 増井功司さん

○所属 特別養護老人ホーム にいがた恵風園
○経歴 1979年8月新潟市西蒲区生まれ
新潟商業高校卒 卒業後、別の仕事に就いていたが、26歳で転職し現職。介護福祉士取得後、2016年10月介護主任。
○趣味 スノーボード、生き物を飼うこと。



3

2階の特養フロア。増井さんは介護主任として、スタッフをまとめ、入居者様全体を見していく立場。



特別養護老人ホーム にいがた恵風園

○運営 社会福祉法人 仁成福祉協会
○特別養護老人ホーム 100名
ショートステイ 20名
デイサービス 8名
○新潟県新潟市江南区鍋渕新田382番地
TEL025-280-3370

業じゃないんです。常に利用者様のことを考え、次のスタッフのことを考え、連携して動いていたんだと。それがわかった時、気持ちが楽になりました。これまで続けて来られたのも、その気づきがあったからだと思います。以前、ある入居者様に「あなたの仕事は尊い仕事だ」と言わたことがあります。だからこそ、一人一人をしっかりと見ていくたいですね。どうしても大人数なので、お一人にかける時間が少なくなりがちです。入居者様の中にも意見を言える人、言えない人がおられます。意見を言えない方にも、少しでも多くこちらから笑顔で話かけて、反応が薄いなら声を大きくする、高くするなどして、ちょうどでも反応して頂ければうれしいですね。

■今後の自分 もっともっと入居者様もスタッフも笑つていられるようにしたい。個人のステップアップとしては、いずれケアマネジャーの資格を取得したいと思います。



■転職の理由 以前は販売の仕事をしていました。ちょうど結婚をして、今後の人生を考えた時、「子供に誇れる仕事をしたい」という思いがありました。実家に年寄りがいて、介護に関心がありましたし。人にかかるわれる仕事に就きたかった。それで、退職後にホームヘルパー二級の資格を取つてこちらにお世話になりました。

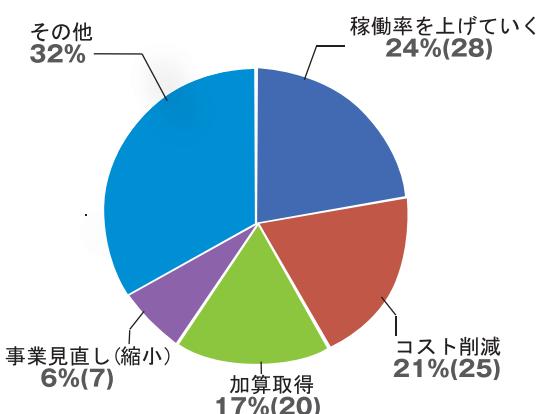
■仕事のポイント 初めは、一人の利用者様を一人が見るものだと思っていましたが、全然イメージと違つて。流れ作業は面白くないな、と思いました。こなしているだけじゃないか、と。それが、しばらく先輩の動きを見ていて気づいたんです。いつも笑顔。動きも、たんなる作

流れ作業に見えるけれど、それだけではない。

経営実態調査について

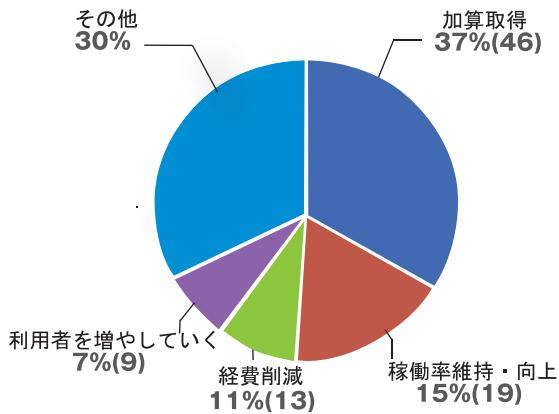
本会総務委員会では昨年度に引き続きアンケートを活用し、会員事業所の経営実態調査を行いました。今年度は「介護報酬改定1年を経て」として、特養117、デイサービス111事業所から「平成28年度と27年度の損益比較」及び「減額改定下の対応や人材不足への対応等6項目の文書回答」を頂きました。誌面の関係で広報誌には文書回答3項目のみの掲載となりますので、継続して変化を見、対応を探ることが目的でありますので、今後とも皆様のご支援をお願い致します。

特別養護老人ホーム

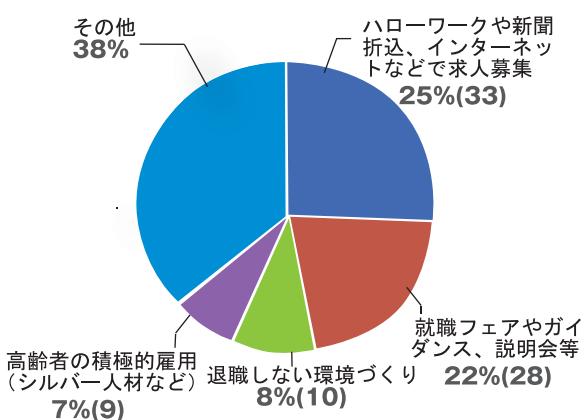


1 減額改定の影響はどのようにされていく方針ですか？

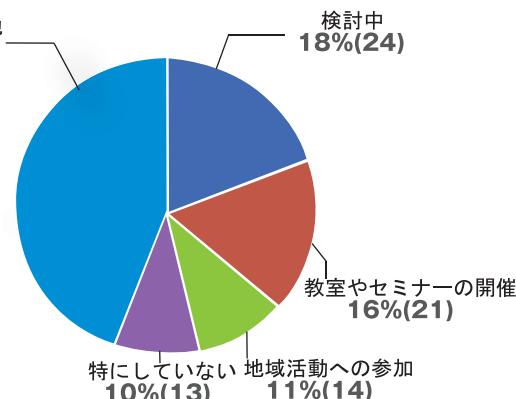
デイサービスセンター



2 人材不足対応は、どのようにされていますか？または、どのようにされていく方針ですか？



3 地域貢献活動についてどのようにされていますか？または、どのようにされていく方針ですか？



※()内の数字は回答数。

平成29年度新潟県福祉団体共同要望

県内の福祉関係11団体が1月17日に県庁で米山知事と面談し、県の2017年度予算編成に向けて要望を行いました。本会は、昨年9月に行いましたアンケート結果に基づき、来年度も現任者向け資格取得事業を継続し、且つ要件である「資格手当制度のある介護事業所」を外して頂きたい、との要請をしました。これは、資格要件の緩和で、より多くの対象者が県の補助金を受ける機会を得ることにより、喫緊の課題である現任者の資質向上や待遇改善が広く行き渡ることを願うものです。(写真は、知事に要望をする市井会長)



祝

おめでとうございます！新潟県から「おむつゼロ」施設が誕生しました！！

介護力向上講習会【新潟分校】

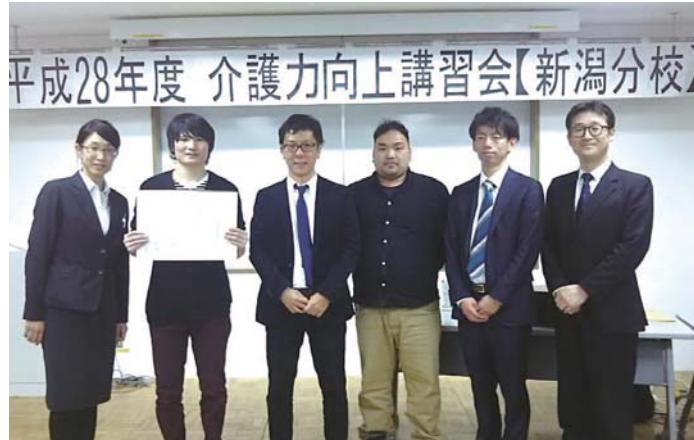
▶介護力向上講習会とは？

全国老施協で平成16年度から実施していた研修。本会で分校を開講して3年目。基本ケアは、「水分、食事、排便、運動」。

特別養護老人ホーム福住様が新潟県で初めての日中おむつ使用率0%を達成されました。今後新潟県の介護力向上に貢献されることを期待します。



市井会長より「おむつゼロ達成証明書」が授与されました



平成29年度 大会・研修予定

平成29年度は新潟県が関東ブロックの当番県となり研究総会を開催いたします。有意義な研究総会となるよう準備しております。たくさんの皆様の参加をお願いいたします。このことにより新潟県老人福祉施設研究大会は開催いたしません。

研修名	日程	会場
職員研修 第1回 (スーパービジョン)	6月21日	新潟ユニゾンプラザ
職員研修 第2回(リスクマネジメント、職業倫理、自己啓発、福祉の歴史、認知症介護の実践)	7月6、7日	燕三条地場産センター
職員研修 第3回 (口腔ケア)	7月26日	新潟ユニゾンプラザ
第53回関東ブロック 老人福祉施設研究総会(新潟大会)	9月7、8日	朱鷺メッセ

研修名	日程	会場
職員研修 第4回 (会計、モチベーション)	10月18日	燕三条地場産センター
職員研修 第5回 (機能訓練、自立支援介護)	1月中	調整中
認知症実践研修 (実践者研修)	12月～ 平成30年2月	新潟ユニゾンプラザ
平成29年度介護力向上講習会	5月～ 平成30年3月	燕三条地場産センター

※ 変更になる場合がございます。正式なご案内は改めてお知らせいたします。

各ブロック部会の活動紹介

平成 28 年 7 月 22 日

第 1 ブロック部会第 1 回研修会

新潟ユニゾンプラザにて作家の生井俊氏を講師に迎え、「ディズニーから学ぶホスピタリティ」というテーマで研修会が行われました。実際にディズニーランドでキャスト経験のある講師より、「相手を思いやる大切さ」「相手を喜ばせる想像力を持つ大切さ」などを学び、参加者からも「いい研修会だった」「大変参考になった」との声が多数聞かれました。(担当 : 小田真士郎)



平成 28 年 11 月 24 日

第 2 ブロック部会第 2 回研修会

新潟ユニゾンプラザにて研修会が開催されました。「リスクマネジメント研修会～明日から役立つ介護トラブルの予防と解決の勘所～」をテーマに、しながわ総合法律事務所の所長・弁護士である高橋直己先生を講師に迎え、グループワークを中心に、契約の基礎知識、リスクマネジメント入門として、介護事故と裁判、事業者・職員の責任、責任判断のプロセス等を個別の判例とその傾向に触れながらご講義いただき、介護事故におけるリスク回避の手段・方法を学びました。(担当 : 菅原正克)



平成 28 年 12 月 9 日

第 3 ブロック部会事例発表会

燕三条地場産業振興センター リサーチコアで「伝えたい！私たちのチャレンジ 2016」を行いました。16 事業所が、ケアの統一化、機能訓練、余暇活動、看取りなど、特色ある取り組みを発表し、参加者は約 150 名と大盛況でした。今後は「いってみたいで賞」を受賞した事業所への施設見学会を予定しています。(担当 : 中澤葉子)



平成 28 年 9 月 30 日

第 4 ブロック部会第 2 回研修会

十日町市のクロステン十日町にて 21 世紀委員主催で研修会を開催しました。講師に、文京学院大学人間学部人間福祉学科准教授 奈良 環 氏を迎えて「自分たちの施設の“ウリ”を考える～自分たちの施設の CM 作り～」というテーマでグループワークを行いました。活発に意見を交わし、他のグループの発表にも皆さん真剣に耳を傾けていました。(担当 : 佐野須奈子)



平成 28 年 11 月 22 日

第 5 ブロック部会第 2 回研修会

直江津駅前のホテルハイマートを会場に、全国老人福祉施設協議会の天野尊明事務局長を講師に迎え、「社会福祉法人制度改革について～施行に向けた準備と留意点～」と題した研修会を行いました。社会福祉法人が本来持つ社会福祉の公器としての役割や性質、福祉サービスの提供主体としてアイデンティティーの再確認・再構築する意味で、今回の社会福祉法人制度改革を捉えて欲しいと訴えられていました。(担当 : 中島栄二)



平成28年度 介護力向上講習会【新潟分校】

平成28年度介護力向上講習会に参加し、要介護4・5の方の歩行訓練の課題に取り組む際の方法の1つとして「セーフティーウォーカー」の使用がありました。当施設でも購入して実際に歩行訓練を行いました。要介護5、1年間寝たきりで食事以外は全介助、両膝に拘縮のある方に使用してもらいました。5秒間の立位保持に続き、「セーフティーウォーカー」を4日間使用し歩くイメージをつかみ、その後U字歩行器を使用して歩けるようになりました。1日60~80メートル歩けるようになり、ご本人にも笑顔が戻り、面会に来た奥様も歩いている姿を見て喜んでいました。これから、トイレでの排便、日中のおむつ外しへ繋がっていくことを期待しています。私の所属しているユニットでの取り組みを他のユニットに伝え、施設全体で多職種協働による取り組みへと進めていきたいと思います。

第5ブロック
特別養護老人ホームにしかりの里
介護員 田中加代子さん



「ONの私」 「OFFの私」



第3ブロック
特別養護老人ホームフローラ
介護士
かとう たけはる
加藤丈晴さん

趣味は食巡りという加藤さんは特養の介護士として利用者と関わっており、法人内でも食通として有名です。加藤さんにおすすめのお店を聞くと、特長や好みを加味し的確に紹介してくれます。（文：御苑義彦さん）



今後も自分好みの味を求めジャンル問わず色々なお店を巡り、見た目で楽しみ口で味わい、お店の内装や暖かい食器などにおもてなしを感じ、心身共に癒され、お腹一杯、気持ち穏やかにまた仕事に励んでいきます。
(文：ご本人)



第4ブロック
特別養護老人ホームうおの園
介護職員
さとう はるよ
佐藤温世さん

古くから伝わる郷土芸能踊り『広大寺』を踊っているOffの私です。

33年前に嫁いだ小平尾集落は、魚沼市でも有数の豪雪地域で、昔から雪に閉ざされる厳しい生活の中で、楽しみとして伝承されたと聞いています。近所の「あねさま」に誘われるまま始めた踊りですが、地域との繋がりになり楽しみになっています。

踊りで鍛えた足腰が、ケアの現場で私を助けてくれているようです。



介護あるある川柳

あなたの手
どんなものより
あたたかい
言われてみたい低体温 さん

介護して
自分はどんな
認知症?
矢島教子 さん

あらたふと ^{※1}
泣きて笑ふて
介護の手
あだじょ 多聞 さん

※1 あらたふと… ああ尊いことよ。

地域とともに

複合型介護施設よしだ 施設長

佐藤久子さん

●施設長リレーコラム●



彼方に苗場山を望む十日町市の高台に建つ、複合型介護施設よしだは、開設から6年目を迎えました。地域密着型特養(3ユニット)、グループホーム(2ユニット)、デイサービスを併設し、新年度にはショートステイを開設予定です。

今年度、法人の高齢事業では「わたしたちは、一人ひとりを大切にした、その人らしい暮らしを支えます。」を運営理念としました。

その人らしい暮らしとは何か、職員は日々悩み葛藤しています。迷った時にこの理念を道しるべにしてほしいと思っています。

この理念のもと、入居者も地域の一員として生活できる施設を目指しています。生活の中に楽しみや役割・できることを探しながら日々のケアにあたっています。生活の基本は日常の暮らしですが、時には非日常のことも取り入れ彩っています。

よしだの周囲には広大な田園が広がっています。田植えから稲刈りまでの移ろい、真っ白な蕎麦の花、その時々の野菜とお花、そして雪景色と、いつも身近に季節を感じることができます。近くの小学校から聞こえてくる、はつらつとした声に元気をもらいます。「食べきれないから」とさりげなくくださる採れたての沢山の野菜、「玄関にどうぞ」といつも庭のお花を持ってきてくださる方もいます。非常時の駆けつけをお願いしている「お助け隊」、何かあったときには施設に避難させてもらうけど、米や野菜で困ったときは助けてあげるからとの言葉をいただいた時は本当に嬉しく思いました。

施設で行う納涼会には地域の方が沢山来てくださり地域のお祭りの一つになれたと自負しています。が、余興で盛り上げてくださるのも地域の方です。今は支援をいたくばかりですが、本当の意味で地域の一員になれるよう模索していきたいと思っています。



ぼたもち作りはおてのもの



メイド喫茶へようこそ～



小学生による かさこじぞうの披露



季節行事・鳥追い
(鳥追いとは…十日町地域に残る小正月行事。拍子木を打ちながら集落内を回り、各地区で住民の無病息災と五穀豊穣を祈る。)

事業所所在地 新潟県十日町市南鎧坂446-1

運営事業者 社会福祉法人十日町福祉会

事業所の種類 特別養護老人ホーム
グループホーム
デイサービスセンター

連絡先等

TEL 025-761-7182
FAX 025-757-8660